



石狩市次世代育成支援行動計画において、平成17年度から平成21年度までの間に実施するものとして位置づけられている個別事業に関する取り組み状況の一覧です。

「人工」とは、職員の作業時間の単位のことをいいます。
0.1人工＝職員1名で1か月程度の作業量

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	くろみ・はまなす保育園、児童館	乳幼児
事業名	保育所、児童館、幼稚園などでの相談・支援事業		
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公的施設などで子育てに関する専門相談員による相談・援助等を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・児童館に配置されている子育て専門職員の知識経験を活用し、乳幼児開放事業(らっこひろば、こあらくらぶ、こころ広場)に合わせ、育児相談を実施 ・随時電話等による子育て相談を受付 <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児開放事業やこころ広場事業に来館した時に随時相談ができるように、資格を持った職員を配置 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特筆すべき経費等はなし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	引き続き実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事業も広く認知されていることから、今後も課題等を検証し、保健師等と連携しながら相談事業を展開する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	くろみ・はまなす保育園、児童館	乳幼児
事業名	乳幼児開放事業の拡充		
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の社会資源を有効活用し、身近な場所で利用できるような体制整備を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の在宅幼児と親を対象に地域活動事業を実施 ・地域交流促進事業として高齢者クラブ等との世代間交流を実施 <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の長期休校期間、他の公共施設(北・南コミセン)で事業を開始 		
保育所地域活動事業	<p>子育て中の親などが気軽に集い交流できる場として保育園を活用し、地域における子育て家庭の子育てに関する相談、援助等が受けられるような体制整備を行う事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまなす保育園で「らっこひろば」を実施(開催件数 42回) ・くろみ保育園で「こあらくらぶ」を実施(開催件数 38回) 		
地域交流促進事業	<p>色々な人々との交流を通して子どもが社会性を身につけるため高齢者との交流を実施する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くろみ保育園で「世代間交流」を実施(開催件数 5回) 		
ころころ広場	<p>放課後児童会の利用しない時間を活用し、親子で楽しめる遊びを通してふれあいを深めていき、乳幼児の発達を促したり、親同士の相談や交流を深めていく事業</p>		
幼児開放	<p>放課後児童会の利用しない時間を活用し、乳幼児とその保護者を対象に自由に遊び、親子とのふれあいを促進する事業</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <p>【経費】 報酬、消耗品、備品など全体で593千円(国交付金対象だが、他の項目と一括算入のため特定できず)</p> <p>【人工】 保育士1.5人×80日(開催半日+準備半日) = 120人/日</p> <p>児童館</p> <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ころころ広場 333千円(道補助222千円、市一般財源111千円) ・幼児開放事業 947千円(市一般財源のみ) <p>【人工】 保育士等1人*186日*4カ所</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <p>事業の準備から実施にあたっては、保育士は通常保育を受け持っているため、この事業を実施していくには体制上の配慮が必要</p> <p>児童館</p> <p>放課後児童会が使用していない空き時間を利用しているため、夏休みや冬休み等の長期休校期間の事業展開が課題となっている。</p>		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <p>引き続き実施</p> <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ころころ広場、幼児開放事業を一体化し、毎日をころころ広場のように事業を拡大する。 ・長期休校期間において、他の公共施設を利用して開設する。 ・子育て支援サークル活動を実施している団体に施設を開放し、子育て支援を拡大する。 		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>くろみ・はまなす保育園</p> <p>参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定</p> <p>児童館</p> <p>参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定。また、児童館の幼児開放では、育児サークルとの協働についても検討</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	こども室(子育て支援課)	全部会
事業名	子育てに関する総合窓口の整備		
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに関する相談・各種手続き等の窓口を総合的に整備し、子育て等に関する適確でわかりやすい情報提供を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	こども室内の事務分担が外部からわかりやすいように、幼稚園事務については子育て支援課、保育園事務についてはこども家庭課に集約		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	学校は教育委員会所管、幼稚園・保育所はこども室所管ということに対する外部の認知度が少し上がった感がある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	市民にとってよりわかりやすいように、子どもに係る相談・手続等の窓口の整備、情報提供に努める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	国において平成19年度から教育委員会主導、福祉部局との連携により進めていく「放課後こどもプラン」が創設されるなど、再度教育委員会と福祉部局(こども室)の関係が再構築される可能性がある。		
放課後こどもプラン (放課後子ども教室推進事業)	全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する事業。同事業は、少子化対策として極めて重要なものとして、留守家庭児童を対象とする厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」(放課後児童クラブ)と一体的あるいは連携した総合的な放課後対策(放課後子どもプラン)として推進する事業として、平成19年度政府予算案として創設された。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課	乳幼児
事業名	地域の育児サークル・NPO法人を支援し協働による事業		
計画体系	1 - (3) - 地域の育児支援団体やNPO法人への支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	親子が気軽に集まれる「つどいの広場」などの運営・企画をNPO等と協働で実施します		
つどいの広場	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場で、育児の不安や疑問、悩みの問題解決の糸口になるような機会を提供する事業。子育て支援センターと同じく(センターより小規模で制約が少ない)国が推進する事業で、国の交付金対象		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>昨年度に引き続き市の委託事業として「つどいの広場」と「地域子育て支援センター」(2カ所)を開設</p> <p>つどいの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称:0123歳児と親のための子育て広場「りとりきっず」 ・場所:花畔2条1丁目 北ガスプラザ石狩ビル1階 コムステプラザ ・事業主体:NPO法人 こども・コムステーション・いしかり ・事業内容:子育て相談(48件)、あそびのひろば(延べ3,187人)、まなびのひろば(延べ194人)、あずかりひろば(延べ3人) <p>地域子育て支援センター</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ(えるむ保育園内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:石狩市花川北2条5丁目63 ・事業主体:社会福祉法人 いしかり福祉会 えるむ保育園 ・事業内容:子育て相談(162件)、絵本の貸し出し(298冊)、子育てサロン(延べ4,081人)、よちよちサロン(延べ695人)、子育て講座(延べ300人)、保育園の行事参加(延べ140人)、子育てサークル(延べ632人) <p>石狩市地域子育て支援センターくみの木広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:石狩市花川南4条3丁目2(南線光の子保育園内) ・事業主体:社会福祉法人 陽光福祉会 南線光の子保育園 ・事業内容:園開放(895組)、電話相談(134件)、来園相談(127人) 		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>つどいの広場</p> <p>委託費:4,364千円(うち国交付金 2,610千円、市一般財源 1,754千円)</p> <p>地域子育て支援センター</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ</p> <p>委託費:7,790千円</p> <p>石狩市地域子育て支援センターくみの木広場</p> <p>委託費:2,611千円</p>		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	つどいの広場は、設立2年目を向かえ新規利用も拡大されている。 平成18年度登録会員数91組(新規登録会員数41組、継続会員数50組)		
H19年度の取り組み内容 【予定】	継続実施 平成19年度より、つどいの広場は国の地域子育て支援拠点事業「ひろば型」、地域子育て支援センターは「センター型」		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	市が補助していた「まちかどサポートセンター」は廃止となったが、児童館のメイクフレンド交流事業を拡大し、育児サークル等もまきこんだ形で事業展開を行っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児												
事業名	一時保育事業の拡充														
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備														
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	冠婚葬祭、保護者の傷病、入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童等を保育します														
一時保育事業	児童が、断続的に保育に欠けるとき及び緊急かつ一時的に保育が必要とき、又は育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために行っている一時的保育。市内3カ所の保育所（くすみ保育園、はまなす保育園、南線光の子保育園）で実施														
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・はまなす、くすみ保育園及び南線光の子保育園3園において、一時保育事業を実施（年間延利用児童数1,900名） ・平成19年4月開園の新設保育園、緑苑台子どもの家保育園において一時保育事業を実施するため、運営主体である法人と実施内容について協議を行った。														
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(経費)</th> <th>(年間延利用児童数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・はまなす保育園</td> <td>人件費・需用費 1,317,161円</td> <td>203名</td> </tr> <tr> <td>・くすみ保育園</td> <td>人件費・需用費 1,302,825円</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td>・南線光の子保育園</td> <td>交付金 2,152,000円</td> <td>1,612名</td> </tr> </tbody> </table>				(経費)	(年間延利用児童数)	・はまなす保育園	人件費・需用費 1,317,161円	203名	・くすみ保育園	人件費・需用費 1,302,825円	85名	・南線光の子保育園	交付金 2,152,000円	1,612名
	(経費)	(年間延利用児童数)													
・はまなす保育園	人件費・需用費 1,317,161円	203名													
・くすみ保育園	人件費・需用費 1,302,825円	85名													
・南線光の子保育園	交付金 2,152,000円	1,612名													
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	一時保育については、市民ニーズが多く、花川地域の既存保育園での実施も望ましいと考えるが、入所児童の状況、専用スペースの確保等で既存保育園での実施は難しい。														
H19年度の取り組み内容 【予定】	引き続き、くすみ・はまなす・南線光の子保育園及び平成19年4月開園の緑苑台子どもの家保育園で実施する。新設の緑苑台子どもの家保育園では、年間延利用児童数900～1,200名を見込んでいる。														
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	ファミリー・サポート・センター事業、民間団体等での一時預かりの利用実績を踏まえ、今後の事業展開を検討する。														

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児、学童						
事業名	病後児預かり保育事業（派遣型）								
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備								
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育所等に通所中の児童等が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間、自宅にヘルパー等を派遣し保育します								
病後児預かり保育事業（派遣型） 【病後児保育事業】	病気回復期にあって、まだ保育所には通えない児童を保育士等が一時的に保育を行う事業。事前に登録を行い、必要となったときに市に申し込む。市内の幼稚園、認可保育所、へき地保育所、認可外保育所及び放課後児童会に通所する小学校低学年（3年生）までの児童が利用できる。なお、まだ治療が必要な病中児は対象とならない。								
H18年度の取り組み 【具体的内容】	病後児保育事業をNPO法人北海道子育て支援ワーカーズに委託して実施（利用件数0件）。また、この事業を実施して以降利用が少ないことから、その要因を探るためアンケート調査を実施								
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>委託料（単価契約）</td> <td>5時間未満</td> <td>5,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5時間以上</td> <td>10,500円</td> </tr> </tbody> </table>			委託料（単価契約）	5時間未満	5,500円		5時間以上	10,500円
委託料（単価契約）	5時間未満	5,500円							
	5時間以上	10,500円							
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	アンケート結果等から、派遣型は当該児童の自宅等での保育となるため、自宅受け入れに対する抵抗感や知らない第三者に預ける不安感等があると考えられ、今後の事業のあり方に対して検討を要する。								
H19年度の取り組み内容 【予定】	引き続きNPO法人に委託して実施する。また、平成20年度開設保育園で病後児保育保育所型の実施について、運営主体である法人と具体的な協議を行う。								
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	病後児保育事業等については、制度上年々事業の拡充が図られており、実施手法について検討を要する。								

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課	乳幼児
事業名	教育・保育計画の公表、情報提供		
計画体系	1 - (4) - 幼稚園・保育所の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを主体とする保育や多様な保育ニーズへの対応等、充実に努めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	子育て支援課、こども家庭課 ・市HP「子育て便利帳」、子育てガイドブックによる幼稚園と保育所の情報提供 ・幼稚園ガイド、保育所ガイドの作成・配布(1月)		
教育・保育計画	各幼稚園・保育園ごとの年間計画。それぞれ内容等について国が定めている(幼稚園教育要領、保育所保育指針)。		
幼稚園ガイド・保育所ガイド	それぞれ幼稚園(5園)、保育園(へき地保育所や認可外保育所含む19園)の園ごとの概要や費用などをまとめた冊子		
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 【人工】市HP「子育て便利帳」の更新と幼稚園ガイドブックの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず こども家庭課 【人工】保育所ガイドの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	幼稚園ガイドブックの配布は園児募集時期(10月頃)が望ましいが、園の事情等により難しいため、代替として幼稚園の入園説明会の日程を市発行の子育てネットマガジンに掲載するなどの配慮が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	市の広報やホームページによる情報の提供と、幼稚園ガイド・保育所ガイドによる幼稚園、保育所等に関する情報の提供を引き続き実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育てガイドブックは、市内の企業に協賛してもらうなどして毎年発行していきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、こども家庭課	乳幼児
事業名	教員・保育士の研修		
計画体系	1 - (4) - 幼稚園・保育所の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	よりよい保育のために、教員・保育士の研修を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 私立幼稚園振興会の研修は、平成18年度は行われなかった。</p> <p>こども家庭課 保育所連絡協議会で年2回研修会を実施 ・「子どもの発達段階に合わせた体育指導」(実技研修) 7月実施 ・「心の基本形は乳幼期につくられる」(講演) 11月実施</p>		
石狩市私立幼稚園振興会 石狩市保育所連絡協議会	それぞれ、市内の幼稚園、保育園(へき地保育所含む)による全市的連絡協議会。主に課題研究や幼稚園教諭あるいは保育士の資質向上のための研修に取り組んでいる。		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 こども家庭課	なし 研修用講師謝金 7万円(市費計上)	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	子育て支援課 こども家庭課 特になし	<p>幼保の連携を取り進めていく必要があるが、幼稚園教員と保育士の枠を超えての研修・交流は難しい現状にある。</p>	
H19年度の取り組み内容 【予定】	子育て支援課 こども家庭課 保育所連絡協議会 (年2回) 実技研修 7月実施予定 講演会 9月実施予定	<p>市教育プラン後期基本計画で位置づけられている「幼稚園教育推進会議」の場を、幼稚園教員の研修の充実という点からも再検討していきたい。</p>	
幼稚園教育推進会議	幼稚園関係者による、幼稚園教育の推進に関わる情報交流の場。市教育プラン後期基本計画に位置づけられている。		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て支援課 こども家庭課	<p>今後は発達支援などをテーマとした合同研修会等を実施していきたい。</p> <p>引き続き実施</p>	

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	認可外保育所等への助成や資質向上の指導・助言		
計画体系	1 - (4) - 民間保育所等の支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	認可外保育所等の柔軟な保育サービスに対し助成するとともに、運営状況の実態把握及び指導を通じて保育サービスの質の向上に努めます		
認可外保育所	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称で、設置に関して規制はないが、入所児童数や運営形態等により知事に届出が必要な施設がある。保育を行う上では、職員配置基準、保育室の構造設備、非常災害対策等についての指導監督基準が示されている。利用できる家庭の制限はなく、利用料も施設と利用者の契約によって決められる。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	石狩市認可外保育交付金交付要綱に基づき、石狩共同乳児保育園たんぼぼ、乳幼児保育はらっぱ、保育ルームみつばちマーヤ及び新たにたくじょびるの4園に交付金を交付		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金		
	・石狩共同乳児保育園 たんぼぼ	3,924,592円	
	・乳幼児保育 はらっぱ	1,557,840円	
	・保育ルームみつばちマーヤ	538,131円	
	・たくじょ びる	878,320円	
H19年度の取り組み内容 【予定】	市交付金については、引き続き4園に助成予定である。また、石狩市保育所連絡協議会主催の年2回の保育士等研修会に積極的な参加を呼びかける。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	認可外保育所への助成は、認可保育所待機児童の受け皿として実施しているが、児童の保育の本旨としては、認可保育所で保育されることが望ましい。このため、認可保育所の創設により待機児童の解消が図られた段階での助成について検討を要する。		
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	保育所の適正配置・入所数などの整備		
計画体系	1 - (4) - 効率的な保育所の運営		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	入所希望児童などが、すべての地域で、公平に保育サービスが受けられるよう整備します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	人口増加により新たに入所希望者が多くなってきていることから、緑苑台地域に平成19年4月認可保育所1園(定員60名)開園に向けて、設置者である学校法人及び北海道と協議を行った。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	認可保育所の設置者が学校法人であり、市費の負担はない。		
認可保育所 (再掲)	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市の危機的財政状況下において、市立の保育所整備は困難なため、法人立の保育所整備に市単費の助成が難しい中、認可保育所の設置促進に努めなければならない。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	平成20年4月保育所1園(定員90名)開設に向け、設置予定法人及び北海道と具体的な協議を行う。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	女性就労の増大、就労形態の多様化やひとり親家庭の増加などにより、保育所への入所希望者が増加している現状であり、平成20年4月新設保育所の開設により、待機児童や超過入所の解消が図られると考えるが、今後市民ニーズに応じた新たな保育サービスの充実が必要と考える。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	障がいのある乳幼児保育の向上にむけた整備		
計画体系	1 - (4) - 障がい児保育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいのある乳幼児の健やかな発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう支援します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	障がい児保育を実施している法人立石狩仲よし保育園及び南線光の子保育園2園に対して交付金を交付		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩仲よし保育園 2,152千円 ・南線光の子保育園 2,152千円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保護者の利用や地理的なことを考慮した場合、全ての保育園での実施が望ましいが、市の財政的な事情により、実施する保育園の拡大は困難		
H19年度の取り組み内容 【予定】	石狩仲よし保育園の利用定員を3名から6名に拡大する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後更に障がい児保育についてニーズが多くなれば、利用定員拡大等の検討を要する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	協働推進・男女共同参画担当、商工労働観光課	全部会
事業名	男性を含めた働き方の見直し・多様な働き方の実現		
計画体系	1 - (5) - 男女共同による子育ての推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	男女が共に子育てに参加し、仕事と家庭のバランスがとれるよう多様な働き方の見直し等の意識の浸透等を進めるため、講習会・広報等による啓発活動を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	協働推進・男女共同参画担当 ・男女共同参画講演会の開催(11月18日) ・職場におけるセクハラ防止対策セミナーの開催(1月26日) ・石狩市女性のつどいの開催(3月1日) ・啓発パンフレットの作成・配布等 商工労働観光課 ・広報や市HPによる仕事と家庭の両立を支援する北海道の施策のPR ・いしかり雇用サポートセンターを利用する企業に対するリーフレットの配布による意識啓発		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	協働推進・男女共同参画担当 ・男女共同参画講演会の開催(11月18日) 【経費】 9万円(講師謝金:8万円、食糧費・その他消耗品費:1万円) 【人力】 準備期間:職員2人で3週間程度、当日:職員13人・市民ボランティア75人 ・職場におけるセクハラ防止対策セミナーの開催(1月26日) 【経費】 なし 【人力】 準備期間:職員1人で1週間程度、当日:職員3人 ・石狩市女性のつどいの開催(3月1日) 【経費】 なし 【人力】 準備期間:職員1人で3日程度、当日職員3人 ・啓発パンフレットの作成・配布等 【経費】 消耗品費6千円 【人力】 職員1人で50日程度 商工労働観光課 【経費】 特にかかった経費はなし 【人力】 年数回の投稿で年トータル1~2時間の事務、0.1人工未満		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	協働推進・男女共同参画担当 企業や団体への制度等の周知・啓発が足りなかったこと 商工労働観光課 特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	協働推進・男女共同参画担当 ・家庭生活への男女共同参画の促進 新港地域内の企業と連携し、父親の育児参加推進のための育児講座を実施 ・雇用の場における男女平等の環境づくり 事業所におけるセクハラ防止のための意識啓発と防止対策セミナーを実施 (継続事業) ・啓発パンフレットの作成・配布等 子育てサークル参加者や事業所向けのパンフレットの作成・配布を行う。 商工労働観光課 平成18年度と同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	協働推進・男女共同参画担当 企業や団体、子育てサークルの参加者など、対象者を限定した啓発活動を実施していきたい。 商工労働観光課 福祉支援と連携し、今後も就業条件の整備について事業者への要請を行っていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	商工労働観光課、行政管理課	全部会
事業名	事業所等への育児支援制度の周知、啓発		
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児休業等の取得率等の向上に向け、事業所等に意識啓発・周知活動を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	商工労働観光課 ・市内約700事業所の雇用・労働基本調査の際、また、いしかり雇用サポートセンターを利用する企業に対しリーフレットを配付 ・実態把握のため、雇用・労働基本調査の育児休業等の取得状況に関する設問を改良 行政管理課 市庁舎1階に、授乳コーナーを設置し、来庁する市民に安心して庁舎を利用できるようにした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	商工労働観光課 雇用・労働基本調査の際リーフレットを同封し事業者の意識啓発を行う～経費0(パンフレットは男女共同参画で作成)、年1度市内約700の事業所宛の封筒への折込作業、0.1人工未満 行政管理課 約37万円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	商工労働観光課 特になし 行政管理課 女性職員の育児休業についてはある程度認識され、実際に取得していることが多いが、今後は男性職員の育児休業への認識を高める必要がある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	商工労働観光課 平成18年度と同様(企業への意識啓発と実態把握) 行政管理課 ・配偶者出産時等の男性職員の休暇取得率を高めることにより、今後の男性職員の育児休業の認識を高めていく。 ・地域の子どもとのふれあいのため、市職員の1日体験保育士を実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	商工労働観光課 関係所管への情報提供や事業展開に寄与する。 行政管理課 市の特定事業主行動計画にもあるが、毎年1名以上の男性職員の育児休業取得者を目指していく。		
特定事業主行動計画	国の少子化社会対策として制定された次世代育成支援対策推進法に基づき、事業主の立場から、職員の職業生活と家庭生活との両立のための勤務環境の整備を行うことを定めた計画。法が平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年間の時限立法であり、市の計画では、その前半期間である平成17年4月1日から平成22年3月31日までの5年間を計画期間としている。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児、学童
事業名	児童手当助成事業		
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てで家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的に、子どもと生計関係のある父母等に手当てを支給します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	子育てで家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的として、子どもと生計関係のある父母等に対し児童手当を支給(支給延児童数 67,212人)		
児童手当	・対象年齢: 小学校修了前の児童 ・月額: 第1子 5千円、第2子 5千円、第3子以降1人増すごとに10千円加算する。 所得制限あり		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 379,990千円 【人工】 1人(通年担当)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	予算額 453,520千円 (法改正により、平成19年4月1日から3歳未満の乳幼児の手当額が、第1子、第2子について5,000円から10,000円に増額)		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引き続き実施		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	乳幼児
事業名	乳幼児医療費の助成事業		
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児に対し、医療費の一部を助成します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的として、乳幼児医療費を支給(受給者数:3,337人、件数:51,256件)		
乳幼児医療費	対象年齢:就学前まで 給付の範囲:保険内診療の医療費の内、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来) ・4歳未満児または低所得者 初診時一部負担のみ(医科580円・歯科510円・柔整270円) ・課税世帯 1割負担(月額上限12千円) 自己負担額(入院) ・初診時一部負担金のみ(一部負担金は外来と同じ)		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 95,710千円 【人工】 1人(通年担当)		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	乳幼児を養育する保護者の負担を軽減するため、市独自で4歳未満までの乳幼児について助成しているが、さらなる保護者への支援が課題となっている。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	予算額 98,139千円		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	乳幼児の健康保持だけでなく、本市の少子高齢化対策としても重要であることから、市独自の助成内容の拡大を検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、学校教育課	全部会
事業名	就園奨励費、就学援助等の助成事業		
計画体系	1 - (6) - 幼稚園等の奨励費など各種制度の実施		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園に通わせる家庭に就園奨励費の支給や経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に就学援助費を支給します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	子育て支援課 幼稚園就園奨励費:対象者数 760人 学校教育課 ・(小中学校)就学援助費:支給者数 1,290人 ・(小中学校)特別支援教育就学奨励費:支給者数 25人		
就園奨励費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費	就園奨励費:幼稚園に通わせる家庭に所得に応じて保育料等の一部を補助する事業(基本的には、補助額のうち国が3分の1、残り3分の2を市町村が負担) 就学援助費:経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に援助費を支給するもの(準要保護者については、平成17年度より三位一体改革による税源委譲により補助金が廃止され、交付税措置による一般財源化となった。) 特別支援教育就学奨励費:特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため奨励費を支給するもの		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 幼稚園就園奨励費 57,415千円(国補助金 15,232千円、市一般財源 42,183千円) 学校教育課 ・就学援助費 103,041千円(国庫補助金 151千円、市一般財源 102,890千円)、 ・特別支援教育就学奨励費 1,554千円(国庫補助金 342千円、市一般財源 1,212千円)		
H19年度の取り組み内容 【予定】	子育て支援課 国の基準の改正に基づき、対象範囲等を拡大 学校教育課 継続実施		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て支援課 今後も国の基準に準拠し、継続して実施していきたい。 学校教育課 就学援助費は平成17年度に認定基準の見直しを実施したが、認定率が他市と比べ約25%と高く、支給額も1億円を超える状況となっており、さらなる見直しが求められている。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	児童館、こども家庭課	乳幼児、学童
事業名	利用者負担のあり方の検討		
計画体系	1 - (6) - 費用負担の在り方		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育料、各種助成事業など、利用者負担のあり方等を検討します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>児童館 他市の動向調査や保育園、幼稚園、小学校等にアンケート調査を実施し、有料化について検証、検討</p> <p>こども家庭課 ・定率減税の縮小に伴う保護者負担の影響及び多子世帯の保護者の負担軽減拡大のため、平成19年4月より認可保育所の保育料を改定 ・へき地保育料については、合併後新市において統一できるよう調整することとなっているため、平成20年度より段階的統一に向けて、庁内園長会議において検討</p>		
認可保育所 (再掲)	<p>児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>児童館 特筆すべき経費等はなし こども家庭課 特にかかった経費等はなし</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>児童館 サービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れていくか検討が必要である。</p> <p>こども家庭課 一部区のへき地保育所だけ実施している園児送迎バスや給食など、今後のサービスのあり方について検討を要する。</p>		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>児童館 議会での承認や保護者への説明を通して、有料化に対する理解を得る。</p> <p>こども家庭課 平成20年度よりへき地保育料改定に向け、社会福祉審議会等の意見を踏まえ、議会に提案する。</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>児童館 収納対策、滞納対策の構築を検討する。</p> <p>こども家庭課 平成20年度よりへき地保育料改定に向け、社会福祉審議会等の意見を踏まえ、議会に提案する。</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	社会教育課	全部会
事業名	家庭教育学級の充実		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭を見つめ直し、自信の持てる子育てができるよう父親や地域を取り込むなど、家庭教育の充実を図ります		
家庭教育学級	親が家庭で子どもの教育・しつけを行ううえで必要な心得、子どもへの接し方など望ましい家庭のあり方を学ぶ場を提供するもの		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	家庭教育学級を開設した市内私立幼稚園、市P連に交付金を交付		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	190千円 (35,000円×5幼稚園、15,000円×市P連)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	道の調査において、青少年の指導や育成に当たっている人の9割が「家庭でのしつけなど子どもへの教育力が低下している」と感じており、まさに家庭教育の重要性が認識されているなかで、父子家庭・母子家庭の増加や共稼ぎ家庭の増加のほか、核家族化の影響など、家庭環境の変化により参加が難しい状況も生まれてきており、本事業の実施による効果が十分に行き渡らない面も見られる。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	本年度の交付金の交付の際に、実施した内容をはじめ、ポイントとなる点を取りまとめ、欠席者を含む全ての父兄に通知するなど各家庭に実施した内容が行き渡るよう指導する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	家庭教育を今後さらに充実させていくためには、家庭、学校、市の連携がより重要となっていて、これを推進するための新たな枠組みの構築と、継続的、かつ地道な取り組みを進めたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	地域教育推進室(企画調整担当)、子育て支援課	乳幼児、学童
事業名	幼児教育のあり方の研究		
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼児教育の振興や幼稚園・保育所等と小学校との連携などを研究します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	幼保小(中・高校含む)の連携について協議等を行なうため、平成18年5月に市教委で連携教育推進会議を設立		
連携教育推進会議	小・中学校短期教職員交流の実績を踏まえ、幼稚園、保育所さらに高校も含め、一貫性のある指導を行うことを目的に市内幼稚園、保育所、小中高校教職員等で構成する会議		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市教委では、中学校区をひとつの単位として連携教育を進めることとしたが、進行状況に地域差が生じている。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	市教委では、今年度は各中学校区ごとに作成した指導目標等に基づいた実践が予定されており、連携教育推進会議を開催し、その内容について情報共有を図る。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	各中学校区の実践を通じた連携の定着と高校との連携		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)	全部会
事業名	幼稚園、保育所等と小学校教員との交流研修		
計画体系	2-(1)- 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子ども一人ひとりに応じた指導などの向上にむけ、幼稚園等との交流や研修を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	小・中学校短期教員交流を小、中学校間において実施		
小・中学校短期教員交流	学習指導や生徒指導について相互理解を深めるとともに、校種それぞれのよさを取り入れた指導体制や指導方法の改善・充実を図ることを目的としたもの		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	小中学校に幼稚園、保育所を加え、校種にとらわれない一貫性のある指導を行うことが必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	今年度は各中学校区ごとに作成した指導目標等に基づいた実践が予定されており、連携教育推進会議を開催し、その内容について情報共有を図る。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	各中学校区の実践を通じた連携の定着と高校との連携		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	乳幼児
事業名	幼稚園教育の振興		
計画体系	2-(1)- 幼児教育の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	人間形成の基礎を培う幼児期の教育を充実するため、環境整備や障がいのある子どもの受入れ、特色ある教育活動等を支援します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	私立幼稚園教育振興交付金を市内5園に交付 ・交付対象事業 教材・教具・図書費等整備事業(本市に住所を有する園児数に応じて交付) 障がい児教育事業(障がい児受入れ園に対し障がいをもつ園児数に応じて交付) 水泳学習事業(市民プールを利用した水泳学習の実施に対して交付) 預かり保育事業(預かり保育を行う園に交付)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	私立幼稚園教育振興交付金:8,612千円 教材・教具・図書費等整備事業 (5,256千円(園割 5園×360千円、園児数分 576人×6千円)) 障がい児教育事業(1,806千円(4園 21人×86千円)) 水泳学習事業(550千円(5園 110人×プール指導員5千円)) 預かり保育事業(1,000千円(5園 5園×200千円))		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	預かり保育の実地調査を数回行った方がより実態を知ることができた。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	事業は継続して実施するが、平成20年度は根拠要綱で定められた見直しを行う年のため、今年度交付対象事業の見直しを行う予定		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	・交付対象事業の見直しを行い、幼稚園教育の振興にとってより有効な事業としていきたい。 ・今後私立幼稚園PTA連合会とも協力した事業展開を行っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	学校教育課	学童、思春期
事業名	福祉、環境、道徳教育の推進		
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため地域の人材や副読本等を活用し、学習内容の充実を図るとともに、指導者の研修機会を提供します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 副読本等を活用し、各教科の中で学習 福祉施設への訪問活動、ごみ拾い、花壇の整備、植樹など環境を守る活動、学校版環境! S O、ユネスコ活動、ボランティア活動などへの取り組み 		
学校版環境! S O	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の考え方を取り入れたシステムで、各学校において、環境保全、資源の有効活用や環境への負荷の軽減など、環境にやさしい学校づくりに向けた行動に取り組み、それを点検・記録し、見直すことで次の行動に生かしてもらおうもの。石狩市では、平成16年度から学校版環境! S O推進モデル校として取り組んでいる。		
かかった経費は？(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> 社会科の副読本作成費 272万円(小3、4) 環境副読本(「石狩の環境」「環境家庭ノート」) 在庫活用(小4、中1) 福祉人権読本 582,750円(1500部増刷)(小5、6) 		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	継続実施		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	現行の事業をより充実させていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	地域教育推進室(企画調整担当)	思春期
事業名	男女共同参画意識の高揚		
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	次代の親となる中高校生と乳幼児とのふれあいの機会など、子どもや家庭の大切さへの理解や男女が協力して家庭を築く意義等の学習の機会を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 職業体験学習実施に向けた受け入れ事業所等に関する相談・情報提供 商工会議所へ協力依頼 		
職業体験学習	主に中学生の勤労観、職業観を身につけさせるため、各事業所において職場体験を行う学習活動		
かかった経費は？(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	生徒の希望に沿った受け入れ事業所の確保		
H19年度の取り組み内容 【予定】	市内全中学校で実施予定		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	受け入れ可能な事業所の開拓		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課、公民館	学童																								
事業名	体験型学習や体験型社会見学等の充実																										
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備																										
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	社会の変化の中で主体的に生きていくことができるよう様々な体験の機会を充実します																										
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課</p> <p>「ふるさと新発見バスツアー」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催: 市子連 ・日時: 6/24(土)9時～17時 ・参加人数: 26名 内容: 石狩、厚田・浜益区の自然や歴史、名勝等を訪ね、理解を深める。 <p>「通学合宿 北児童館から学校へ通おう」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催: 市子連 ・日時: 7/2(日)～5(水) ・参加人数: 10名 内容: 子ども達が主体となり、花川北児童館で3泊4日生活を行いながら学校へ通う。 <p>「町のはらっぱ事業」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催: 市 ・共催: 市子連 ・日時: 6/3(土)、7/8(土)、8/5(土) 参加人数: 1回目41名(保護者2名)、2回目40名(保護者6名)、3回目15名(保護者7名) 内容: 石狩消防署横の市有地(はらっぱ)で、子ども達が自由に自分の発想で遊び場を作る。 <p>第1回「がらくたひみつきちをつくらう」 対象: 小学校高学年 廃材を利用した秘密基地を2基作成。昼からは廃材を燃やしてふかし芋を調理</p> <p>第2回「がらくたすべり台をつくらう」 対象: 主に小学生 5・6年生は廃材を利用したすべり台作り、3・4年生は缶馬作り、1・2年生はペットボトルで流しそめん台作り、幼児は砂場で砂遊び。午後からはすべり台に水を流しウォータースライダーのようにして遊んだ。</p> <p>第3回「みんなで遊ぼう! どんどこマウンテン」 対象: 主に幼児 砂山で穴を掘ったり川を作ったり、泥プールの泥団子作り、ウォータースライダー遊びを行った。</p> <p>公民館</p> <p>「子ども体験広場」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催: 公民館 ・期間: 5月～11月まで7回開催 ・参加人数: 総計180名 対象: 小学4～6年生 内容: 子ども達の生きる力を育むため様々な体験をする機会を提供する。テーマは「自然」 <table border="0" data-bbox="624 1115 1437 1350"> <tr> <td>流木でアートしよう</td> <td>5月20日</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>ストーンアートしよう</td> <td>6月17日</td> <td>雨天のため中止</td> </tr> <tr> <td>レッツ! カニつり</td> <td>7月15日</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>レッツ! カニつり2</td> <td>8月9日</td> <td>20名(前回応募者多数のため落選者を対象に追加実施)</td> </tr> <tr> <td>川あそび</td> <td>8月19日</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>ウッドクラフト</td> <td>9月9日</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>サケつり</td> <td>10月14日</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>焚き火でご飯</td> <td>11月18日</td> <td>36名</td> </tr> </table> <p>「親子教室」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催: 公民館 ・対象: 小学生以上の親子 内容: 親子での共同作業や共通体験を通じてふれあいを深め、また知識や技術の習得のきっかけづくりとする。 <p>絵本に出てくるお菓子をつくろう! 2月10日 21名</p>			流木でアートしよう	5月20日	19名	ストーンアートしよう	6月17日	雨天のため中止	レッツ! カニつり	7月15日	37名	レッツ! カニつり2	8月9日	20名(前回応募者多数のため落選者を対象に追加実施)	川あそび	8月19日	23名	ウッドクラフト	9月9日	25名	サケつり	10月14日	20名	焚き火でご飯	11月18日	36名
流木でアートしよう	5月20日	19名																									
ストーンアートしよう	6月17日	雨天のため中止																									
レッツ! カニつり	7月15日	37名																									
レッツ! カニつり2	8月9日	20名(前回応募者多数のため落選者を対象に追加実施)																									
川あそび	8月19日	23名																									
ウッドクラフト	9月9日	25名																									
サケつり	10月14日	20名																									
焚き火でご飯	11月18日	36名																									
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと新発見バスツアー 【経費】 市子連が支出 【人工】 0.1人工 通学合宿 【経費】 市子連が支出 【人工】 0.2人工 「町のはらっぱ」事業 【経費】 91千円(消耗品、資材費等) 【人工】 1人工 <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> こども体験広場 【経費】 24千円 【人力】 毎回準備に職員1人で3日、当日は職員3人で1日、有償ボランティアリーダーが2人 親子教室 【経費】 12千円 【人力】 準備に職員1人で3日、当日は職員1人で1日 																										
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業によっては定員に対して参加者が少なすぎる事業もあったため、周知方法、内容、開催日程等の再考の必要がある。 地域組織(単位子ども会等)の参画がなかなか得られなかった。 <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアリーダーが不足気味である。 実施が天候に左右されやすい。 学校等の行事と重ならないよう留意する必要がある。 																										

<p>H19年度の取り組み内容 【予定】</p>	<p>子育て支援課 ・通学合宿は、今年度は他の団体とも協力し、期間も長くして行う予定 ・町のはらっぱ事業は、今年度は緑苑台地区にも増設、市民有志と協働した事業展開を行う。</p> <p>公民館 「子ども体験広場」の実施 ・お花見に行こう 5月19日 ・ヨットに乗ろう 7月 1日 ・秋のサケつりキャンプ 10月 ・春の雪山探検隊 3月20日 「親子教室」の実施 ・燻製づくりとネイチャーゲーム 10月</p>
<p>今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】</p>	<p>子育て支援課 ・事業の周知方法、内容等に工夫が必要 ・様々な市民団体、機関と連携しての事業展開はもとより、地域資源の効果的な活用を図る。</p> <p>公民館 様々な市民団体との協働により、充実した事業が可能になることから、今後も市独自ではなく、いろいろな機関や団体との協働を図っていく。</p>

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	市民図書館	全部会
事業名	子どもの読書活動推進		
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの豊かな心を育むため、幼児期から成長段階に即した読書の普及を推進します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子どもの読書推進事業を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・ブックスタートボランティア講座(年3回) ・ブックスタートフォローアップボランティア講座(年2回) ・「あかちゃんと絵本のへや」(月1回) ・学校図書室支援事業(平成18年度は花川南小学校をモデル校指定) ・学校図書室ボランティア研修会(年2回) ・学級団体貸出(参加校16校) ・市内文庫への団体貸出 ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催) ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜) ・八幡分館(毎月第4土曜) ・学校等でのおはなし会(不定期) ・図書館まつり(11月3・4・5日開催) 		
子どもの読書推進事業	ブックスタート対象の0歳児に始まり、学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む事業		
ブックスタート	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートパックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本読み聞かせを啓発する。		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	事業費 1,281千円(講師謝金 70千円、消耗品等 698千円、図書費 500千円、役務費 13千円)		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	ブックスタート開始にあたり、市民ボランティア・保健福祉部との事前の勉強会や打合せを重ねる中で、事業に対する考え方の統一や情報の共有化、各役割の共通認識等を図るのに時間を要した。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>子どもの読書推進事業を継続実施。ブックスタート対象の0歳児に始まり学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート ・ブックスタートボランティア講座(年3回予定) ・ブックスタートフォローアップボランティア講座(年2回予定) ・「あかちゃんと絵本のへや」(月1回) ・学校図書室支援事業(H19年度は、モデル校として1校指定) ・学校図書室ボランティア研修会(年2回予定) ・学級団体貸出(参加校12校) ・市内文庫への団体貸出 ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催) ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜) ・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜) ・学校等でのおはなし会(不定期) ・図書館まつり(10月下旬開催) 		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩地区のブックスタートボランティアは現在7名の登録しかないため、継続的に事業を行うための絶対数の確保を行う。 ・市民ボランティアの参加がある事業については、研修等を行う中でボランティアの自主性を尊重し、より自発的な活動を促進していく。 		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、社会教育課	全部会
事業名	スポーツ、芸術文化活動の指導者の養成、普及		
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが生涯にわたって積極的にスポーツ・芸術文化に親しむことができるよう環境整備します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	スポーツ・青少年課 スポーツ活動の普及 ・カローリング教室の開催・カローリング大会開催への協力 ・わんぱくスポーツスクールの開催 ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対して、補助金の交付を通じての支援 スポーツ指導者の養成 ・スポーツ指導者養成事業を行っている体育協会に対し、拠出金の交付を通じての支援 社会教育課 プログラムバンク事業において芸術文化プログラムの紹介		
カローリング	室内で行うカローリング。ストーンの裏にジェットローラがついており、体育館などの床で競技を行う。		
わんぱくスポーツスクール	市内の小学5・6年生を対象に、宿泊を伴うスポーツ体験教室		
プログラムバンク事業	講師となって教えることのできる人にその「プログラム」を登録してもらい、それを周知して、学びたい人に利用してもらうことで、石狩市の人材を生かした双方向の生涯学習を充実させようという事業		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ・青少年課 ・カローリング教室講師謝礼 30,000円 ・カローリング大会運営会議報酬 48,800円 ・わんぱくスポーツスクール 154,660円 社会教育課 プログラム利用の実態調査のみで、経費はかかっていない。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ・青少年課 ・カローリング用具の数が少ない。 ・平らな床面を使用しての競技性から、特定施設に常設する等の工夫を要する。 社会教育課 ・直接講師に連絡をとって利用してもらっていたため、利用実態の把握ができていなかった。 ・毎年の更新をしてこなかったため、できなくなっていたプログラムもあった。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	スポーツ・青少年課 ・カローリング教室の開催 ・わんぱくスポーツスクールの開催 ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対して、補助金の交付を通じての支援 ・スポーツ指導者養成事業を行っている体育協会に対し、拠出金の交付を通じての支援 社会教育課 プログラムの更新、充実		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 ・教室の開催については、参加者のサークル等による組織化を図りたい。 ・体育協会で行なっている事業は、継続的に支援していきたい。 社会教育課 現在社会教育課で進めている講座受講者がスタンプを取得する「学びのスタンプ制度」と連携して、充実した生涯学習システムを構築したい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、社会教育課	全部会
事業名	スポーツ、芸術文化の観戦、鑑賞機会の充実		
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの意欲や能力・豊かな感受性を育むため、スポーツや芸術文化等の観戦・鑑賞の機会を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	スポーツ・青少年課 石狩市スポーツ広場改修基本計画の作成 社会教育課 文化関係団体等で構成するいしかり芸術座運営委員会に委託する等して、kitaraファーストコンサートへの参加補助、二胡コンサート、ペルーのパントマイム「ショートストーリーズ」、俳句事業、学校出前ミニコンサートといった「芸術鑑賞会事業」を実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ・青少年課 石狩市スポーツ広場改修基本計画委託費 147,000円 社会教育課 1,306千円(いしかり芸術座運営委員会への委託料 1,100千円、謝礼金 175千円)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ・青少年課 ・スポーツの普及振興のための指導者層の拡大と充実 ・スポーツの意義やすばらしさを伝える市民へのPR方法 ・周辺施設の環境整備 社会教育課 大部分を芸術座運営委員会に委託したが、2年目ということもあり、委員会の自主性や特性を引き出した。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	スポーツ・青少年課 スポーツ広場改修実施に向けた準備(石狩市スポーツ広場改修基本実施設計作成) 社会教育課 kitaraファーストコンサートへの参加補助、小学1年生対象のピアノ読み聞かせ、中学校文化系部活動発表会、ガラクタ音楽会、俳句事業、学校出前ミニコンサートの開催		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 指導者層の拡大と充実のため、スポーツ指導者講習会の充実によるスポーツ指導者の養成と地域に根ざした指導者の発掘と活用に努めたい。また、一流プレーが展開される全国全道大会の誘致や市民向けのスポーツ教室やスポーツイベントの開催等の充実によりスポーツの意義やすばらしさを市民にPRしたい。 社会教育課 平成20年度以降は石狩芸術座の3年間の運営により得られた結果や参加団体相互の結びつきを活かし、市民協働をさらに進めながら、学校出前ミニコンサート、俳句事業を中心に、事業効果が高いメニューを組み立て事業を推進する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	学童、思春期
事業名	育成協議会等の育成		
計画体系	2 - (2) - 子どもの健やかな育成の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに安心した地域・学校環境づくりや地域の教育力の活性化に向け、青少年健全育成活動を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 地区別の青少年健全育成協議会へ交付金を支出 各地区の子どもの安全・非行防止・声かけ運動等 いしかりヤングフォーラムの開催(6地区合同) 石中校区:外部講師による講演会、独居老人宅の除雪への支援 花川南地区:サマーフェスティバル、少年少女意見発表会の開催 北中校区:意見交流会(紅葉山子育て21!)、紅南ふれあい広場 花中校区:児童会・生徒会交流会、生活標語コンクール 石狩市子ども会育成連絡協議会へ交付金を支出 各単位子ども会の活動支援、リーダー研修等 ふるさと新発見バスツアー、通学宿舎(主催)、町のはらっぱ事業(共催) 		
青少年育成協議会 【育成協】	市内中学校を中心に小学校、地域及び家庭が連携した活動を行う協議会。祭典等の巡視やあいさつ運動の他、各育成協独自の取り組みを行っている。平成18年度より、厚田区、浜益区育成協も加わり、現在市内に6つの育成協が存在		
市子ども会育成連絡協議会 【市子連】	市内の単位子ども会(町内会の子ども会)指導者間の連絡及び指導者の研修や各種子ども向け事業を行う協議会(平成18年度 構成単位子ども会43団体 4,007名)		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> 地域青少年健全育成活動交付金 655千円 子ども会育成連絡協議会交付金 810千円 		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	乳幼児から青少年までの一括した健全育成活動を行うように、支援体制を見直す必要がある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	継続実施		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子ども達が主体的に地域や社会のために活動する機会を今以上に活性化していくために、協議会や各団体の連携による全市的かつ有効的な支援体制の構築を図っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課、地域教育推進室(企画調整担当)	全部会
事業名	幼稚園、保育所、児童館等と小学校・中学校との接続のあり方		
計画体系	2 - (2) - 子どもの成長に沿った連携の研究		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの成長段階に沿って円滑に移行できるよう研究します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育推進室 5月に連携教育推進会議を設立。以降進捗状況の把握と連携教育に関わる情報提供を実施 		
連携教育推進会議 (再掲)	小・中学校短期教職員交流の実績を踏まえ、幼稚園、保育所さらに高校も含め、一貫性のある指導を行うことを目的に市内幼稚園、保育所、小中高教職員等で構成する会議		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育推進室 市教委では、中学校区をひとつの単位として連携教育を進めることとしたが、進行状況に地域差が生じている。 		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育推進室 今年度は各中学校区ごとに作成した指導目標等に基づいた実践が予定されており、連携教育推進会議を開催し、その内容について情報共有を図る。 		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課 児童館を活用しての幼児と児童の交流や、幼稚園・保育園を中学校の職業体験学習の場とするなどして、幼保小中の交流を進めていきたい。 地域教育推進室 各中学校区の実践を通じた連携の定着と高校との連携 		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども発達支援センター	全部会
事業名	医療、福祉、教育、保健、地域との連携体制の充実		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいの原因となる疾病や事故等の予防及び早期発見・治療等をはじめ、各分野の円滑な連携による療育を支援します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域療育推進協議会について、現場に携わる委員による専門部会の開催 ・子ども発達支援センターより巡回訪問による継続支援を幼稚園、保育園に対して実施 ・特に保健との密接かつ円滑な連携の推進 ・教育関係者と随時連携した支援 		
地域療育推進協議会	障がい児の早期発見、早期療育の一貫した療育体制を整備し、関係者間の密接な連携により、総合的かつ効果的に療育等を推進するために設置		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特にかかった経費はなし 【人工】 0.2人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就学前から就学への連携が発達支援センターを中心としながら行われているが、共通する発達や療育に関する専門知識及び共通理解と連携の取り組みには更なる工夫が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	発達障がいに係る子どもの現場に応じた体制に向けて見直しを検討中		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	発達障がい児(者)について、就学前療育から就学時の特別支援教育、さらには就学後の就労支援も含めた総合的支援体制の確立を目指し、地域療育推進協議会の大幅な改編を行う。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	福祉生活課	全部会
事業名	児童デイサービス事業		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援します		
児童デイサービス事業	未就学児から就学児(12歳未満)までの障がいや発達の遅れのある児童に対する個別・集団的適応訓練や放課後活動支援		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	市直営の「こども発達支援センター」と民間事業所「ニコリ」の市内2事業者において児童デイサービス事業を実施することにより、障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援(両センター利用児童総数 100名)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費 8,639千円(決算見込) ・こども発達支援センター運営費 6,139千円 + 正職員給与(4人) 		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	中高生の受入れが制度上困難 (就学前児童の受入れを全体の7割としなければ、事業所が不利益を受けることから)		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月施行の障害者自立支援法に基づくサービス体系に移行することによる療育中心への事業内容の見直しに基づく子どもの発達段階に適合した療育 ・小・中・高生の放課後活動支援を目指したサービス体系の見直し 		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	早期療育や個別療育の重点など一貫した療育実践の場としての要素と、放課後活動の場の確保など多様なニーズに応えるシステムの構築		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども発達支援センター	全部会
事業名	地域と連携した社会参加を促進する取組み		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい・発達に配慮を必要とする子どもが地域で安心して生活できるよう地域の理解・協力のもと交流等を通じた活動の機会を創出します		
H18年度の取組み 【具体的内容】	一般市民や子どもに関わる専門家への啓発など研修内容別に、療育・教育委員会・こども見守りネット協議会など関係所管と発達障がいに係る講演を2回共同開催(参加者:第1回142名、第2回127名)		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	合計経費100千円、開催内容により託児支援、スタッフ全員(6人)及びボランティアにより対応		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに対する関心や認識は高まっており、講演も毎回好評を得、継続要望が強く期待されている。 ・ニーズに応じた療育内容のレベルアップと関係機関との相互理解が必要 ・子どもたちが安心して地域活動に参加できる場の創出を促進する必要がある。 		
H19年度の取組み内容 【予定】	継続的な講演会などの研修を通して、発達障がい及び家族支援への理解の促進と制度の啓発を図るとともに、収集した新しい情報や技術を周知していく。また、子ども達がいきいきと活動に参加できる場の検討		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	発達の視点による子どもの成長や保護者の育児支援として取組みを継続する。また互いの役割を理解し認め合いながら、関係機関と相互理解のための連携を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	学校教育課	学童、思春期
事業名	特別支援教育の推進		
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒の個々の教育的ニーズを支援するため、学校内の体制整備や指導方法等に関する実践研究に努めるなど、特別支援教育の円滑な導入に向けた取組みと実践に努めます		
特別支援教育	学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒(学習障がいなど)の教育的ニーズを把握し、その困り感を改善または克服するために必要な支援を行うもので、平成19年度から実施される。		
H18年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に校内委員会やコーディネーターを配置するとともに学校を支援する教育相談支援チームの充実を図るなど、特別支援教育の体制整備 ・こども発達支援センターと連携し、特別支援教育の推進に関する研修会・講演会や出前講座などを実施 		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会・講演会謝金(2回) 6万円 ・TA(ティーチング・アシスタント)4人と介助員3人の報酬 1,268万円 ・教育相談支援チーム謝金 3万円 ・消耗品等 130万円 		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	学校では実施に向けての体制の整備が図られてきているが、支援のための人員が不足している。		
H19年度の取組み内容 【予定】	市コーディネーターの指名、TAの充実、教育相談支援チームの活用など、学校等への支援や教育相談体制の充実を図る。また、こども発達支援センターと連携し、教育現場で役立つ研修を実施する。		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	学校生活において、学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒に適切な教育的な支援ができるよう支援体制を充実していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	妊婦に対する相談支援の充実		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦届出時の相談体制を強化します。また、若年や高齢、疾病を有するなど妊娠出産に困難をきたしやすい妊婦に訪問や電話相談などによる個別支援を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	母子手帳交付時に妊娠届出時アンケートを実施。心身の状況や現在・今後の不安についての項目を設定し、スムーズに対応できるよう心がけた。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	妊娠届出事務及び相談対応は、1日平均2件程度		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	母子手帳交付窓口はオープンとなっており、込み入った相談はしにくい状況であるため改善が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	アンケート項目の追加・見直しを行いながら継続実施する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	窓口の相談ではプライバシーの確保が困難なため、相談できる環境作りを検討したい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	マタニティコースの充実		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦の不安の解消や孤立化を防ぐため、交流を主体としたマタニティコースを実施します		
マタニティコース	妊婦とその夫または家族を対象に実施する健康教室		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 従来のマタニティコースから食育をメインとしたマタニティクッキングを2日、育児教室1日のコースへと変更 両親教室を年3回実施 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> マタニティコース 【経費】 保育士賃金6回 21,000円、消耗品等 12,000円 【人力】 保健師稼働 12回、栄養士稼働8回 両親教室 【経費】 保健師稼働 6回 【人力】 助産師賃金 20,000円 		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	妊娠届出数及び参加者が減少傾向であるため、周知と実施内容の見直しが必要。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	平成18年度から平成19年度の妊娠届出状況から考えて、マタニティコースを年3クール実施とする。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	食生活を見直す機会とするとともに、仲間作りの場となるよう働きかけていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	産後の母親の精神的負担の軽減		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との情報交換・新生児訪問・4ヶ月児健診時に母親の精神状況を確認し、産後うつ等に対し支援します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問や4か月児健診で保護者の心身状況の把握をし、早期の支援につながるよう努めた。 ・産婦人科とは養育支援連絡票を用い、継続した支援ができるよう努めた。 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児(産婦)訪問 150件 ・4か月健診受診者 378人 		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	新生児(産婦)訪問の対象を、第1子と低体重出生児、母親の育児負担が大きいなどのハイリスク者に限定していたため、訪問していないケースは4か月児健診のアンケートで問題が発見されることがあった。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	新生児(産婦)訪問の全数実施に向けて検討。4か月児健診での子育てアンケートを継続実施。妊娠期よりハイリスクと思われる母については産婦人科とも連携を取りながら支援を行っていく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	新生児(産婦)訪問を全数実施し、状況把握に努めていく。ハイリスクと思われる母に対しては産後うつスクリーニングツールを用い、早期の支援に結び付けていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	妊婦健康診査要指導者等への支援		
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との連携による早期対応に努めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査受診票の発行(前期後期各1枚、35歳以上超音波券1枚) ・B型肝炎ウイルス陽性者に対する保健指導を医療機関に委託して実施することにより、医療機関と連携して健康支援 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	前期分388件×6,880円(HBs抗原検査290円含む)、後期分325件×6,590円、超音波検査50件、保健指導料委託費 1件×2,400円 総計5,078,590円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	経済的理由などにより出産直前や直後の妊娠届出が年間数件ある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	前年度同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	医療機関との連携を図り、要指導者への支援に努める。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課、子育て支援課	乳幼児
事業名	育児相談機関や子育て支援サービスの周知		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子保健情報の内容充実や母子手帳発行及び健診時にリーフレット等を活用し普及・啓発に努めます。また、転入者には母子保健情報や子育てガイドブック等を配布し周知します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	健康づくり課 母子手帳発行時や訪問時、各乳幼児健診の場において育児相談機関や子育て支援サービスを周知 子育て支援課 いしかり子育てネット会議で平成18年度版子育てガイドブックについて改定内容の検討を行い、ガイドブックを育児相談機関や子育て支援サービスについてよりわかりやすくなるようにリニューアル、子育て中の市民によるイラスト掲載など親しみやすい改訂に心がけた。		
いしかり子育てネット会議	子育てに関わる行政機関やNPO法人さらには育児サークルなど子育て支援団体が一同に会する会議で、平成17年5月に発足。関係団体間の情報の共有や連携、さらには情報発信の一元化などを目的とする。平成18年度は4回開催。子育てネットマガジンを毎月発行		
子育てガイドブック (再掲)	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	健康づくり課 資料作成事務 月1～2日、リーフ作成時の消耗品費 子育て支援課 【経費】 託児賃金10千円 【人工】 0.2人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	健康づくり課 窓口や健診、訪問のみならずこちらから子育て支援機関に出向き、相談機関の周知やPRを行っていく必要がある。 子育て支援課 いしかり子育てネット会議の参加団体には子育て支援サービスの周知が図られているが、子育てサークルの参加が少なく、マガジン発行時期を早めるなど子育て家庭への周知方法に工夫が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	健康づくり課 情報は随時更新し、内容を充実させていく。 子育て支援課 子育てネット会議(年4回)の中で「これからの子育て子育て支援」を議論する場を持ち、毎月のネットマガジン等で発信、石狩市の子育ての課題を共有し、連携体制を深める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	健康づくり課 関係機関との情報交換を密に行い、利用者が使いやすいものを作成していく。 子育て支援課 支援を必要としている子育て家庭(特に在宅子育て家庭)へのアプローチや、子育て家庭が参画しやすいガイドブック作成など、利用者側からの発信方法を検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課、公民館	乳幼児																														
事業名	保健相談、育児教室の充実																																
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実																																
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健康相談や電話・訪問による育児相談を推進します。また、子育て教室の対象拡大や内容の充実に努めます																																
子育て教室	<ul style="list-style-type: none"> ・生後5～7か月の児と保護者を対象に実施。親子遊びや社会資源の紹介で2回、離乳食教室1回の3回1コースで実施(本庁) ・1歳～就学前児を対象に親子遊びや昼食会など年11回実施(浜益区) 																																
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>健康づくり課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康相談、電話・訪問による育児相談を継続実施 ・子育て広場を前年度の出生数や妊娠届出状況から5コースに増回し実施 ・20歳以下の母親を対象としたヤングママの子育て交流会を8回実施 ・地域子育て支援センターとの共催で、双子を持つ親の育児交流会を5回開催し、サークル活動の立ち上げを支援 ・浜益区では、就学前までの児を対象にしたすくすくクラブやわんぱく遊び教室を実施 <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳半～3歳児の親を対象に、親子遊び・リラクソヨガ・子どもの心としつけのお話等を行う「びよびよ広場」を実施 																																
びよびよ広場	<p>子育てに関する知識や技術等の向上に努め、参加者相互や子育てを支援する人々との交流を深めることにより家庭の教育力の向上を図るための事業</p> <p>びよびよ広場(H18年度事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、親子あそび</td> <td>5月25日</td> <td>11組23名</td> </tr> <tr> <td>・おすすめ絵本と手遊び</td> <td>6月 1日</td> <td>15組31名</td> </tr> <tr> <td>・パネルシアターをつくろう</td> <td>6月 8日</td> <td>14組29名</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て」</td> <td>6月15日</td> <td>14組29名</td> </tr> <tr> <td>・親子体操とふれあい遊び</td> <td>6月22日</td> <td>14組29名</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>6月29日</td> <td>16組34名</td> </tr> <tr> <td>・リラクソヨガと子育ての話</td> <td>7月 6日</td> <td>17組35名</td> </tr> <tr> <td>・調理実習と栄養の話</td> <td>7月13日</td> <td>16組33名</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どもの心としつけの関係」</td> <td>7月20日</td> <td>13組26名</td> </tr> <tr> <td>・閉講式、振り返り</td> <td>7月27日</td> <td>14組29名</td> </tr> </table>			・開講式、親子あそび	5月25日	11組23名	・おすすめ絵本と手遊び	6月 1日	15組31名	・パネルシアターをつくろう	6月 8日	14組29名	・講義「親たちの生き方と子育て」	6月15日	14組29名	・親子体操とふれあい遊び	6月22日	14組29名	・バス遠足	6月29日	16組34名	・リラクソヨガと子育ての話	7月 6日	17組35名	・調理実習と栄養の話	7月13日	16組33名	・講義「子どもの心としつけの関係」	7月20日	13組26名	・閉講式、振り返り	7月27日	14組29名
・開講式、親子あそび	5月25日	11組23名																															
・おすすめ絵本と手遊び	6月 1日	15組31名																															
・パネルシアターをつくろう	6月 8日	14組29名																															
・講義「親たちの生き方と子育て」	6月15日	14組29名																															
・親子体操とふれあい遊び	6月22日	14組29名																															
・バス遠足	6月29日	16組34名																															
・リラクソヨガと子育ての話	7月 6日	17組35名																															
・調理実習と栄養の話	7月13日	16組33名																															
・講義「子どもの心としつけの関係」	7月20日	13組26名																															
・閉講式、振り返り	7月27日	14組29名																															
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>健康づくり課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングママ交流会の託児として保育士4回、保健師・看護師稼働30回、栄養士稼働6回 ・すくすくクラブ消耗品14,000円 わんぱく教室消耗品22,000円 <p>公民館</p> <p>びよびよ広場</p> <p>【経費】 177,320円</p> <p>【人力】 毎回準備に職員1人1日、当日は職員2人1日</p>																																
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>健康づくり課</p> <p>子育て広場は多くの親子の参加があり概ね好評であるが、交通の便の悪い人や車がないなどの理由で参加に結びつかなかったり、こちらが本来に参加してほしい親子が参加に至らない場合も多い。ヤングママの交流会では夫との関係や家族関係に問題があるなど、集団での関わりのみならず、個別の関わりも必要であった。</p> <p>公民館</p> <p>他の子育て関係の事業と参加者が重なっている。家にもこもり孤立しがちな親子に参加を促すため、周知方法に一層の工夫が必要である。</p>																																
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>健康づくり課</p> <p>来所・電話・訪問による相談は随時行っていく。子育て広場は平成18年度の出生・妊娠届出状況から年4コースで実施する。ヤングママの交流会も継続実施予定。浜益区も前年と同様に実施予定</p> <p>公民館</p> <p>「びよびよ広場」の実施(対象:1歳半～3歳児をもつ保護者)</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、親子あそび</td> <td>5月24日</td> </tr> <tr> <td>・リラクソヨガと子育ての話</td> <td>5月31日</td> </tr> <tr> <td>・おもちゃづくり</td> <td>6月 7日</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」</td> <td>6月14日</td> </tr> <tr> <td>・講義「幼児の成長と絵本の話」</td> <td>6月21日</td> </tr> <tr> <td>・遠足(サスイシリの森)</td> <td>6月28日</td> </tr> <tr> <td>・調理実習と栄養の話</td> <td>7月 5日</td> </tr> <tr> <td>・託児ビデオ観賞、作文</td> <td>7月12日</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>7月19日</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どもの心」、閉講式</td> <td>7月26日</td> </tr> </table>			・開講式、親子あそび	5月24日	・リラクソヨガと子育ての話	5月31日	・おもちゃづくり	6月 7日	・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月14日	・講義「幼児の成長と絵本の話」	6月21日	・遠足(サスイシリの森)	6月28日	・調理実習と栄養の話	7月 5日	・託児ビデオ観賞、作文	7月12日	・バス遠足	7月19日	・講義「子どもの心」、閉講式	7月26日										
・開講式、親子あそび	5月24日																																
・リラクソヨガと子育ての話	5月31日																																
・おもちゃづくり	6月 7日																																
・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月14日																																
・講義「幼児の成長と絵本の話」	6月21日																																
・遠足(サスイシリの森)	6月28日																																
・調理実習と栄養の話	7月 5日																																
・託児ビデオ観賞、作文	7月12日																																
・バス遠足	7月19日																																
・講義「子どもの心」、閉講式	7月26日																																

今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	健康づくり課 子育て広場は多くの親子が参加しやすいように地区別での開催も検討したい。ヤングママの交流会では参加している母もまだ思春期であるため、交流のみならず今後の子育てや家族計画などについて教育的な要素も盛り込んでいきたい。厚田区では育児教室を実施していないが、母子保健サービスに関する意向調査を実施予定 公民館 子育て支援や家庭教育の重要性が強く指摘される中において、今後も必要とされる課題の把握に努めながら事業を実施するとともに、参加者同士の交流が一層図られるよう進め方を工夫する。
--------------------------	---

40

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	乳幼児健診体制の充実		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の体制・内容を見直し、混雑の解消や相談しやすい体制を整備します。また、育児不安のある保護者には訪問等の事後支援を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 各乳幼児健診を月1で実施 10か月児健診ではブックスタート(図書館事業)を導入 健診受診者を対象に健診満足度についてのアンケートを実施 		
ブックスタート (再掲)	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートパックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本読み聞かせを啓発する。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 医師報酬・看護師・歯科衛生士賃金 約270万円 【人力】 健診回数 年48回(栄養士 36人日、保健師 144人日、事務職員 48人日)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	健診満足度については満足と答えた人が66.9%、やや満足と答えた人が29.8%、やや不満と答えた人が3.3%で概ね満足してもらっているようであるが、待ち時間が長いなどの声もあった。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	健診回数などは平成18年度と同様に実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	健診での待ち時間については、対象人数により保健師を増員するなど混雑解消を図る。また、問診内容や保健指導を充実させ、健診満足度が上がるよう努めていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター、健康づくり課	全部会
事業名	虐待の早期発見、予防		
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待予防ケアマネジメントシステム事業を展開し児童虐待の発生予防に努めます		
虐待予防ケアマネジメント事業	4か月児健診において、「子育てアンケート」として虐待要因を点数化し、スクリーニングを実施。ハイリスクケースについては、事後指導等を実施する。また、処遇困難ケースに対する検討会を実施する。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	健康づくり課 4か月児健診時に、虐待早期発見スクリーニングを行い、育児支援が必要な家庭に虐待予防に関する事後支援を行った。また、虐待予防の一環として、ハイリスク者(若年母や双子)に対する子育て交流会を実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	健康づくり課 【人力】 保健師 80日分、臨時看護師 30日分		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	健康づくり課 子育てアンケートの名称でスクリーニングを実施しており、育児面の内容が詳しく聞き取りできた。生後4か月までの間に上の子の対応に悩むという声も多く、第2子以降の新生児訪問の実施に向け検討したい。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	健康づくり課 引き続きスクリーニングを実施。新生児訪問の全数実施に向けて、体制を整備する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	こども相談センター 虐待が疑われるハイリスクケースについては、要保護児童ケースとして情報共有していきたい。 健康づくり課 スクリーニング後の事後指導の徹底と追跡調査及び子育てアンケートの自由記載欄に記載された意見等の集約と活用について検討する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	乳幼児健診未受診者への対応		
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の未受診者に電話・手紙・訪問などで健康状態の確認を行い健診の普及・啓発に努めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・未受診者に対して再度手紙を送付し受診を勧奨。それでも受診されなかった場合は、電話や訪問による状況確認を実施 ・日程の都合が合わない場合は、他の健診日程でも受け入れを実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】 通知の事務処理に2日程度。その他状況確認の電話や訪問は随時実施		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	未受診者の中には発達や家庭的に問題を抱えている子も少なくなかった。また、状況確認のため電話や訪問をするも母親が就労している場合などは連絡がつかないことも多かった。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	未受診者については引き続き手紙や電話による勧奨を行い状況確認に努めていく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保護者の就労などで連絡のつかない場合もあるので、保育園の利用状況なども確認し状況把握に努めていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	発達に不安がある乳幼児への支援		
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	専門相談員による発達相談を行い、きめ細やかな相談を行っていきます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・1歳6か月児健診・3歳児健診・発達相談において、臨床発達心理士による相談を実施 ・保健師による電話や訪問での状況確認を実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 賃金8,300円×36回 = 298,800円 【人力】 1歳6か月児健診・3歳児健診・発達相談 各12回		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	発達相談の日程は月に1回しか設けていないため、保護者の都合のつかない場合は相談につながらないこともある。年々要経過観察児が増えてきており、相談日程が足りなくなっている。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	平成18年度と同様に実施		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	平成19年度の健診対象数から考えても相談件数は増加していくことが予想されるため、日程の増回を検討していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	歯科相談、検診の充実		
計画体系	3 - (3) - 歯科保健の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	歯科相談指導の充実や歯科検診の意向調査等を実施し、必要な見直しを検討します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診で歯科衛生士による相談の場を設置 ・歯科検診を1歳6か月児・3歳児健診のほかに月2回実施(支所においては年4回実施)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	歯科医師報酬 1,152,000円、歯科衛生士賃金 292,800円 その他消耗品や医薬材料費など		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	受診数・受診率は横ばいの状態。平日日中の開催であるため、保護者が就労している場合などは利用しにくい状況である。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	実施回数等は平成18年度と同様に実施。2歳児への個別通知も継続実施とする。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	乳幼児期からの指導のみならず、妊娠期にも機会を設けて歯科衛生の啓蒙・普及を図っていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	事故防止の普及啓発及び指導		
計画体系	3 - (3) - 事故防止対策		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問指導でSIDS(乳児突然死症候群)予防を含めた事故防止の指導を行います。さらに、乳幼児健診時においても啓発に努めます		
新生児訪問指導	生後28日までを新生児期という。第1子と低出生体重児(出生時体重2,500g未満)、その他必要と認められた児に対する訪問指導を実施している。		
SIDS(乳児突然死症候群)	元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんが、ある日突然睡眠中に呼吸が止まって死亡する病気		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・新生児訪問や4か月児健診において、リーフレットを配布 ・公共施設にポスターを掲示		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	無料リーフレット、ポスター使用		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	前年同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な機会を利用して啓蒙普及を図る。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	全部会
事業名	食生活に関する正しい知識の普及、啓発		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊産婦をはじめ、子どもの成長段階に応じた食に関する正しい知識と望ましい食習慣の学習機会や情報提供を保健・福祉・教育分野などが連携し、子どもや家庭の心身の健康増進に努めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・マタニティコースを栄養講義と調理実習がメインのマタニティッキングに変更し、妊娠期からの啓発を実施 ・乳児期には離乳食教室を、浜益支所においては保育園児を対象にした親子料理教室を実施 ・「石狩市食育推進」庁内連絡会議を開催		
マタニティコース (再掲)	妊婦とその夫または家族を対象に実施する健康教室		
「石狩市食育推進」庁内連絡会議	食育基本法に基づき、市民の健康づくりのための食育について子どもの時期から食についての正しい知識と望ましい食習慣を身につけるとともに、各世代にわたる食育を推進するために、食を通じて市民の心と体の健康を支える食育活動について関係する職員が共通認識を持ち、連携しながら食育の推進を図るための庁内会議。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・マタニティッキング:保健師稼働 8回、栄養士稼働 8回 ・離乳食教室:栄養士・保健師稼働 5回、その他消耗品など		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	マタニティッキングは参加者からは概ね好評であったが、1回の参加人数が少ないため更なる周知が必要。食育の推進については各所管との連携が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	マタニティッキングは3コースに、離乳食教室は4コースに変更し実施。食育推進庁内連絡会議には随時参加		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠期・乳幼児期・学童期・思春期の各世代への取り組みを関係所管と検討していく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	乳幼児
事業名	健診での栄養指導の充実		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	利用しやすいリーフレット(簡単レシピ集や清涼飲料水等)を作成し、栄養指導等を充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・各乳幼児健診での相談のほか、乳幼児健康相談で栄養相談を実施 ・電話や来所による相談は随時実施 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】 保健師・栄養士稼働 乳幼児健診 各12回×2人、乳幼児健康相談 年12回		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	1歳6か月児・3歳児健診での栄養相談利用が少ない。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	各乳幼児健診・乳幼児健康相談は平成18年と同様に実施。3歳児健診において栄養個別指導を全件実施予定		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	3歳児健診での全件栄養指導の状況を見ながら1歳6か月児健診での導入も検討したい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	子育て支援課、学校教育課	全部会
事業名	食に関するプログラムの開発		
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	身近に学習できる食に関するプログラムを開発し、学校を始め地域での活用を勧めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤女子大学食物栄養学科との協働により、くろみ保育園をモデル保育園として「3色食品群理解度チェック」と「箸の持ち方指導」を実施 ・市内全保育園を対象に「お箸に関するアンケート」を実施 <p>学校教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関して身近に学習できるプログラムとして、藤女子大学食物栄養学科による保育園、学校等での食育セミナーや授業を実施 ・国の食育推進事業の指定を受け、学校等での講演会、食育授業を実施 ・「石狩版食事バランスガイド」を作成し、保護者等に配布 		
食に関するプログラム	<p>普段の遊びの中で「お箸の持ち方」「3色食品群」などを習得するプログラム(手順)。藤女子大学食物栄養学科ゼミ生の研究テーマと保育園独自の食育メニューをタイアップさせ、協働によるプログラムを開発する。また、今後の食育推進のツールとして活用する。</p>		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課</p> <p>【経費】 ゼミ生交通費13千円、栄養計算ソフト369千円 【人工】 0.2人工</p> <p>学校教育課</p> <p>【経費】 直接経費は些少のため捕捉せず。 (なお、国の食育推進事業は110万円の補助金で実施)</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課</p> <p>箸の持ち方を中心にプログラムを作成したが、継続した指導が必要な面もある。</p> <p>学校教育課</p> <p>正しい食習慣の形成は簡単ではなく、保育所、学校だけでは難しい。</p>		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>子育て支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内法人保育園2カ所をモデル園とし、3色食品群学習プロジェクトを実施。 ・昨年度の「お箸の持ち方プログラム」を希望園に出前講座として実施し、普及啓発を図る。 ・食に関するアンケートについて、今年度は父親からの視点、母親からの視点での調査を行う。 <p>学校教育課</p> <p>各学校での食育やその指導を継続実施するとともに、独立法人日本スポーツ振興センターからの委託事業を受け食育推進を図る。</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課</p> <p>藤女子大学との協働、教育委員会(石狩市食育推進委員会)や健康づくり課(「石狩市食育推進」庁内連絡会議)と連携した事業展開を行っていきたい。</p> <p>学校教育課</p> <p>食育の基本は家庭であり、今後も保育所や幼稚園、関係機関と連携し、保護者に向けての対策を行う必要がある。</p>		
石狩市食育推進委員会 (再掲)	<p>食の重要性を認識し、食に関する指導の充実を図るため平成18年に市教育委員会が設置。栄養教諭を中核として学校、家庭、地域が連携し、食育推進のための体制整備を図ることを目的とする。</p>		
「石狩市食育推進」庁内連絡会議	<p>食育基本法に基づき、市民の健康づくりのための食育について子どもの時期から食についての正しい知識と望ましい食習慣を身につけるとともに、各世代にわたる食育を推進するために、食を通じて市民の心と体の健康を支える食育活動について関係する職員が共通認識を持ち、連携しながら食育の推進を図るための庁内会議</p>		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	健康づくり課	学童、思春期
事業名	性や感染症予防等に関する正しい知識の普及		
計画体系	3 - (5) - 性に関する健全な意識の涵養		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性の問題行動や性感染症の予防のため、性に関する正しい知識の普及・啓発活動を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども総合支援会議の思春期部会に参加 ・PTA連合会研修大会において、アンケート調査結果の報告、講演、分科会討論 ・中高生向けに思春期の性に関する相談機関・情報収集先パンフレットを作成・配布 ・保健所実施事業への協力(小学生低学年向けの性の健康教育) 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】パンフレット作成 色上質紙代(300枚) 【人工】保健師 15人日		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	・家庭・地域の育児力が低下し、子どもが相手と心をかよわせ関係を築いていく能力が低下している。性の問題は自己肯定感やコミュニケーション能力と深く関わり、知識の啓発だけでは効果が得られにくい。また、個人の価値観に左右されるという側面と思春期には親との距離を置きたい時期でもあることから家庭での指導には限界がある。 ・学校では、文科省の方針や学校毎の取り組み方針の違いから性に関する指導を一律にできない現状がある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生に対する性の健康教育の実施 ・保護者に向けた啓発(PTAの学習会等) ・学校との連携(養護教諭、教諭、保健師等で健康教育のプログラムの検討) ・子ども総合支援会議思春期部会における検討 		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	思春期の問題を連続した発達の中で捉え、狭義の性や心の教育にとどまらず、妊娠期から親子の愛着形成や自己肯定感・コミュニケーション能力・自律性などが健全に発達できるよう支援する。そのために幼稚園・学校・PTA・地域など関係者が互いの役割を理解し、協力できる体制づくりが必要		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	学校教育課、健康づくり課	学童、思春期
事業名	薬物乱用、喫煙防止の普及、啓発		
計画体系	3 - (5) - 薬物等や喫煙防止の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	心や身体を蝕む薬物乱用や喫煙を、地域・保健・家庭・学校が連携し、防止・啓発活動を進めます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	学校教育課 ・保健での授業や薬物乱用防止教室の開催 ・学校内における禁煙の実施 ・(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの薬物乱用防止キャラバンカーを利用した教室を6校において実施 健康づくり課 ・母親教室・両親教室における啓発 ・新生児訪問や4か月児健診において受動喫煙防止の指導を実施		
薬物乱用防止キャラバンカー	麻薬・覚せい剤等の薬物の乱用が世界各国で深刻な社会問題となっていることを背景として、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが、薬物乱用防止キャラバンカーによるキャンペーンを全国的に展開。小学校の高学年、中学生、高校生を対象に薬物乱用防止啓発指導を実施するために活用している。キャラバンカー内は展示コーナーと映像コーナーに分かれ、専門の指導員による解説を交え、簡単にシンナー・覚せい剤等薬物乱用防止に関する正しい知識の理解ができるよう工夫されている。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	学校教育課 【経費】 直接経費は些少のため捕捉せず 健康づくり課 【人力】 母親・両親教室 7回、4か月児健診 12回		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	学校教育課 学校での取り組みに差が見られる。 健康づくり課 20～40歳代の母親世代である女性の喫煙率が高い。受動喫煙防止の指導は実施しているが、禁煙指導は実施していない。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	学校教育課 平成18年度の取り組みをより多くの学校で実施するよう要請していく。 健康づくり課 母親教室や育児教室、健診の場などで引き続き受動喫煙防止の指導、タバコの害に関する指導を行う。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	学校教育課 授業をはじめ、警察による防止教室、平成18年度から活用した薬物乱用防止キャラバンカーによる薬物乱用防止教室などの取り組みの充実を図っていく。 健康づくり課 学校保健との連携。喫煙率低下に向けての取り組み		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度(新規)	用地・地域振興担当、区画整理担当	乳幼児
事業名	市街地開発事業等の子育て支援施設等整備の普及、啓発		
計画体系	4 - (1) - 住居環境の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	宅地開発や公共施設整備等での子育て支援施設が一体的に整備されるよう普及・啓発を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	平成18年度は宅地開発や市街地開発事業がなかったため、該当なし		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	上記より該当なし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	上記より該当なし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	特になし		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	予定なし		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	みどりの課	全部会
事業名	公園、道路、公共施設の整備		
計画体系	4-(2)- ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	高齢者・障がい児(者)等をはじめとする誰もが利用しやすい公園等のバリアフリー化を推進します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	石狩ふれあいの杜公園においてバリアフリー園路の整備を実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 石狩ふれあいの杜公園整備事業費 75,390,000円 【人工】 約2人/年		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	石狩ふれあいの杜公園は、平成19年度も継続事業としてバリアフリー園路の整備、視覚障害者用(点字板・触知図)公園案内標識の設置などを行う。花川南大空公園は、リニューアル工事としてバリアフリー園路などの整備を行う。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成18年法律第91号)」が施行され、公園の新設、増設、又は改築を行うときは省令で定めた基準に適合するよう努める。石狩ふれあいの杜公園整備事業は平成19年度で完了。街区公園整備事業は、ワークショップの手法により市民と協働による公園設計を行う。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	商工労働観光課、行政管理課	乳幼児
事業名	事業者等に子ども連れ親等に配慮した施設整備の指導、啓発		
計画体系	4-(2)- ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公共施設や大型店舗等に子育て世帯が快適に利用できる育児スペースなどを設置するよう指導・啓発を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	商工労働観光課 市内約700事業所の雇用・労働基本調査の際、いしかり雇用サポートセンターを利用する企業に対しリーフレットを配付 【再掲】 行政管理課 市庁舎1階に、授乳コーナーを設置し、来庁する市民に安心して庁舎を利用できるようにした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	商工労働観光課 なし 【再掲】 行政管理課 約37万円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	商工労働観光課 特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	商工労働観光課 平成18年度と同様に企業への意識啓発を行っていく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	商工労働観光課 今後も就業条件の整備について事業者への要請を行っていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	総合危機管理室	全部会
事業名	防災等の避難体制等の周知活動		
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	緊急時に、すぐ対応できるよう避難場所や避難方法等の周知を徹底します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	・備蓄資材の場所、使い方等について学校に説明し、生徒にも周知を行うよう依頼 ・学校が石狩市の避難所となっていること、避難所運営訓練を行っているなどの説明もあわせて実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	今年度も同じように期限切れ近くの備蓄品を学校に配布し、防災意識の高揚や防災知識の普及啓発に努める。また、避難所運営訓練も計画に基づき行っていく。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	これからは、備蓄品以外の防災知識として、避難場所や避難経路の確認・事前把握及び町内会・自治会等で実施している防災訓練への参加を積極的に呼びかけていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター、スポーツ・青少年課	全部会
事業名	地域、関係機関、学校、警察等の連携強化 いじめや問題行動等のないまちづくり		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭や地域住民・学校・関係機関・警察等とのネットワーク体制を強化し、子どもを犯罪・非行等から「守る」ために、地域社会全体で取り組みます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	こども相談センター 要保護児童対策地域協議会として、こども見守りネットワーク協議会を設置 スポーツ・青少年課 石狩市子ども安全・安心連絡協議会を立ち上げ、各小学校区での取り組みの情報交換を行い、各校での取り組みの参考としてもらうとともに、学校を核とした、地域と連携した組織の立ち上げを学校に勧めた。		
要保護児童対策地域協議会	平成16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	こども相談センター 【人工】 0.5人工 スポーツ・青少年課 【人工】 情報の収集と取りまとめ、資料の作成など0.7人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	こども相談センター いじめ、非行の問題については、まだ見守りネットのシステムで対応する状況には至っていない。 スポーツ・青少年課 取り組みが鈍い地域、学校と地域がうまく連携がとれてない地域などがあることから、積極的に地域と連携をするよう働きかけていく必要がある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	こども相談センター いじめや不登校ケースの相談があった場合について、ケース会議を通して早期対応とネットワークによる適切な支援を行う。 スポーツ・青少年課 連携がうまくとれていない地域に対し、学校が中心となって地域一体で取り組みを進める組織の立ち上げを進める。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	こども相談センター 虐待問題に対応するためのケース会議の手法を、いじめや不登校問題についても応用し、第三者機関として、見守りネットが機能する支援方策を見出していきたい。 スポーツ・青少年課 学校、PTA、町内会などが一体となった取り組みを市内全小学校区で行い、石狩市全体で子どもを見守る体制を目指す。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	市民生活課	全部会
事業名	町内会等との連携による防犯活動		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	安全・安心なまちづくりのため、交番・駐在所と町内会などが連携し適切な情報提供や防犯ボランティア活動を支援します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	交番からの依頼を受け、関係地域の町内会に防犯に関する情報提供を行うことにより、交番、町内会等の連携による防犯活動		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	緊急時の情報提供を受ける側の体制づくりが必要と思われる。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	現在、2地区の防犯協会で青色回転灯の認可を得てパトロールを行っているが、他の防犯協会にも青色回転灯のパトロールを実施してもらうように働きかける。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	地域、各団体等の連携の強化		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	全部会
事業名	「こども110番」いしかりサポート事業の充実		
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが被害に遭ったり遭いそうな時、一時的な保護と警察等への通報を行う「こども110番いしかりサポート」協力店舗・家庭の充実や子どもに位置等の周知活動を行い、地域で子どもを守る体制を整備します		
「こども110番」いしかりサポート事業	平成11年に事故発生の未然防止、子どもたちの緊急避難場所及び警察等関係機関への早期通報を目的とし、市民に広く協力を求める事業としてスタート。登録していただいた家庭には「こども110番いしかりサポート」と記載したステッカーを配布し、玄関など見やすい位置に貼ってもらっている。平成18年7月21日現在616件が登録している。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども110番いしかりサポート」に関する記事を広報に掲載 ・町内会及び学校を通じて「こども110番いしかりサポート」の設置協力を依頼 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】ステッカーは昨年度までの残で対応 【人工】町内会等へのPR、配付手続きなどで0.2人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域により協力が格差がある。 ・子どもたちへの周知が不十分である。 		
H19年度の取り組み内容 【予定】	学校、町内会を通して広く協力を呼びかけている。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全域に協力箇所を増やし、また、学校を通して、こども110番の家について子どもたちにも広く周知する。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	全部会
事業名	書店、コンビニエンスストア等への有害図書等の啓発 地域、関係機関、PTA等との連携による有害情報等の啓発		
計画体系	4 - (3) - 有害図書・情報の排除にむけた啓発活動		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、インターネット等の有害サイトを関係機関・団体やPTA、ボランティア等と協力して、排除等の広報啓発活動を推進します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	関係機関、学校等で行われる会議における有害情報等に関する情報交換や有害情報等排除のための対応の依頼等を実施		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	会議資料の作成、会議の出席など1人工で60日程度		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	有害情報等を強制して排除することはできないため、関係機関に協力をお願いするのみである。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	平成18年度と同様		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	関係機関とより連携を密にし、地域、関係機関等と一体となって立ち入り調査をし、排除を進めていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	児童家庭の相談、支援体制の充実		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	深刻化する児童への虐待等やひとり親家庭に対する相談・支援体制を充実し、さらに関係機関と連携協力体制を築き、地域と一体となった予防をはじめ総合的な支援を行います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	相談員のスーパーバイザーとして、臨床心理士のセンター長を配置		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	センター長報酬 355,100 × 12ヶ月=4,261,200円 通勤手当2,250 × 12ヶ月=27,000円		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	さらなる相談員の専門性の向上が求められるが、資格取得や研修会(道外)参加のための予算措置が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	センター長のスーパービジョンのほか、研修会への参加を積極的に行っていききたい。		
スーパービジョン	熟練ワーカーが未熟練ワーカーの職務遂行能力を向上させるために、管理的機能、教育的機能、支持的機能を果たして、助言指導や教育訓練を行い解決の方策を一緒に探索していく共同の努力過程のこと		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	相談員の相談援助技術の向上が図られ、他の相談サービスとの差別化を図りたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	児童虐待防止ネットワークづくり		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	福祉、医療、保健、教育、警察等や地域と協力体制を強化し、虐待等の早期発見・予防や啓発活動を推進します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	要保護児童対策地域協議会として、こども見守りネットワーク協議会を設置		
要保護児童対策地域協議会	平成16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.5人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	虐待の通告義務について、一層周知徹底していくことが必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	見守りネットの総会、ケース会議を円滑に実施していくため、実務者研修会を開催する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待防止対策についての理解、協力が浸透し、ネットワークの強化が図られるようにしたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	研修等の充実		
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待等の背景は多岐にわたることから、関係職員や子どもに係る関係者に研修等を実施し、適切に対応していきます		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	実務者研修(教職員、児童委員、幼稚園、保育士)を実施(サマーセミナー、民生児童委員研修(児童部会、母子父子部会)、こどもの権利を考えるフォーラムなど)		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	参加者数や参加機関に偏りがある。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	関係機関の実務者以外にも、一般参加の研修会なども開催したい。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	全ての機関の全職員が最低1回は参加できるよう、回数や内容について工夫していきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭の親等が疾病等の理由により、子育てが困難となった時に、家庭奉仕員（ヘルパー）等を派遣し一時的な家事援助や保育サービスを提供します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	登録世帯 4、延べ利用回数 14回		
母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭へヘルパーを派遣し、一時的な生活困難や育児を支援する事業。北海道から事務委託され、経費の3/4道補助金、1/4が市町村単費		
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 奉仕派遣員委託料 124,050円 【人工】 0.1人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	延べ利用件数は増えてきているが、登録者が広がらない。ヘルパーに子どもを預けることや自宅に入れることへの抵抗感が影響していると考えられる。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	昨年同様、児童手当、ひとり親医療の通知の際に併せてパンフレットを送付する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	平成19年度からスタートするファミリーサポートセンター事業での実施について検討		
ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人（利用会員）と子育ての援助をしたい人（援助会員）が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども相談センター	全部会
事業名	母子家庭への各種支援制度の周知		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子寡婦福祉資金や母子家庭自立支援給付金などの各種支援制度の活用等を周知し、社会的自立にむけ支援します		
母子寡婦福祉資金	ひとり親家庭の経済支援対策として、資金の貸付を行う。申請や償還などの事務は北海道で実施することとなり、市町村では面接の際の制度の説明や書類の取りまとめを行う。		
母子家庭自立支援給付金	母子家庭の母の就労支援対策として、技能習得のため指定した講習を受講するための経費の40パーセントを補助する。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	平成18年度母子寡婦福祉資金申請件数 85件		
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 母子寡婦福祉資金貸付額 30,259千円 【人力】 母子自立支援員 2人		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	母子寡婦福祉資金貸付事業は道の事業であることと、平成19年度から新規事業を行うため、今のところなし		
H19年度の取り組み内容 【予定】	・母子家庭自立支援給付金事業の開始（平成19年7月～） ・母子自立支援プログラム事業の実施（平成19年4月～）		
母子自立支援プログラム事業	面接により、母子家庭の母の生活状況や課題を把握することにより、個々のニーズにあった自立のためのプログラムを策定し、ハローワークの就労支援事業に繋げるため、母子自立支援プログラム策定員を配置する事業		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	制度のPRと利用者数を増やしていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	こども家庭課	全部会
事業名	児童扶養手当、医療費助成事業		
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭等の経済的負担の軽減		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭等の児童に対し、児童扶養手当や医療費を助成します		
児童扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者 18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童を監護している母または母にかわって児童を養育(児童と同居し、監護し、生計を同じくしていること)している人 ・手当の月額(所得制限あり) 1人目全部支給で41,720円、一部支給で41,710円～9,850円 2人目で5,000円加算、3人目以降1人増すごとに3,000円加算する。 		
ひとり親家庭等医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者 ひとり親家庭や両親のいない家庭で扶養または監護されている18歳までの子と親 ひとり親家庭の親に扶養されている18歳から20歳未満の子と親(親は入院のみ) ・助成の範囲 保険内診療の医療費のうち、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来) 4歳未満児又は低所得者 初診時一部負担金のみ (医科580円・歯科510円・柔道整復270円) 課税世帯 1割負担(限度額12,000円/月) 自己負担額(入院) 就学前の児童または低所得者 初診時一部負担金のみ 課税世帯 1割負担(限度額44,400円/月) 平成18年9月末日までは限度額40,200円/月、所得制限あり 		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当を支給(受給者数 529人) ・ひとり親家庭等の児童に対する医療費を助成(受給者数 1,646人、件数 9,666件) 		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	支給額 <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 272,816千円 ・ひとり親家庭等医療費助成 28,320千円(1人工) 		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 生計別の認定基準の見直しを全道的に実施 ・ひとり親家庭等医療 特になし 		
H19年度の取り組み内容 【予定】	予算額 <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 644人 270,000千円 ・ひとり親家庭等医療費助成 10,103件 28,288千円 		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	乳幼児医療費助成事業において、市独自の助成の拡大が検討されることから、その検討結果によりひとり親家庭医療費助成事業の整合性を図る必要がある。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、こども相談センター	学童、思春期
事業名	「ふらっとくらぶ」の体制整備 早期発見、予防等に関するカウンセリング等の充実		
計画体系	5 - (3) - 不登校などへの支援体制の整備		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	不登校等への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応指導教室「ふらっとくらぶ」を核として、専門指導員による訪問指導・相談活動を充実し、子どもや家庭を支援します		
ふらっとくらぶ	不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のため、集団指導、個別指導により、社会的自立に資することを基本に、学校復帰を支援する適応指導教室		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童への支援に関わる近隣市との連携 ・ふらっとくらぶに指導員2人と訪問相談員1人を配置 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 ふらっとくらぶ運営費 5,079,762円 人件費、消耗品費、燃料費など 【人工】 スタッフ(3人)で運営(年間)		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	精神面による不登校が多いことから、家族、学校との連携を図り、長期対応が必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	平成18年度同様、指導員2名と相談員1名のスタッフで運営をしている。今年度は家庭、学校との情報共有、連携をしっかりと行い、児童生徒の自立に向けた支援体制を確立する。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ・青少年課 学校・家庭とふらっとくらぶが情報交換を通じ、学校復帰を基本としながらも、学校復帰が難しい児童生徒にとっても安心して通える”居場所”となり、学校復帰の足がかりとなる居場所として確立していく。 こども相談センター 不登校児童の支援について、連携を図っていきたい。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課	学童、思春期
事業名	スクールカウンセラー等の配置		
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	学校にスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒や保護者などが抱える悩み・相談を行います		
スクールカウンセラー	平成7年より文部科学省にて不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のため心の専門家であるスクールカウンセラーの配置を進め、当初は全国の中学校に配置する予定であった。現在石狩市では、花川中学校、花川北中学校、花川南中学校の3校に配置し、それぞれの中学校区の小学校も担当している。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	花川中学校、花川北中学校及び花川南中学校にスクールカウンセラーを、石狩中学校及び樽川中学校に心の教室相談員を、南線小学校に子どもと親の相談員をそれぞれ配置し、児童生徒、保護者等が抱える悩みの相談を実施		
心の教室相談員	スクールカウンセラーが配置されていない樽川中学校と石狩中学校、厚田・浜益区の中学校を担当している相談員。臨床心理士ではないが、相談員等又はそれに準ずる経験・経歴があるものを採用し、子どもたちの悩みの解消に対応している。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】心の教室相談員等に対する費用 1,243,826円 スクールカウンセラーについては、北海道から直接報酬がカウンセラーに支払われている。		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	できれば、市内全中学校にスクールカウンセラーを配置できることが望ましい。さらに小学校も配置できればなお良い。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	カウンセラーの主としての配置は平成18年同様であるが、学校、生徒の状況に応じて、3人のカウンセラーが他の未配置中学校もカバーする。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全中学校に相談員を配置し、スクールカウンセラーの活用を図るとともに、未配置校をなくしていく。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	スポーツ・青少年課、こども相談センター	学童、思春期
事業名	子育て支援事業の充実		
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	問題行動への対応や学習へのつまずきを支援するため、学校を核とした地域で見守り育てるシステムづくりを充実します		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>スポーツ・青少年課 ・学校・学級復帰を目的とした支援を指導員が行う「自立支援教室」を樽川中学校及び花川北中学校、花川南中学校の市内3中学校に設置 ・子どもに関係のある機関がそれぞれ行うことができる支援について協議を行う「サポートチーム協議会」を年3回実施 こども相談センター 平成18年4月にこども見守りネットワーク協議会を設置し、地域関係機関で要保護児童等の問題行動等の支援について協議するためのシステムを構築</p>		
自立支援教室	平成16年度より、文部科学省の委託事業である「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」を受け、花川北中学校に4名の指導員を配置しスタート。あそび・非行型の不登校生徒や問題行動を起こす生徒を対象に学校・学級復帰、立ち直りを目的とし別室にて指導員が支援を行う。		
サポートチーム協議会	自立支援教室と同様に平成16年度より文部科学省の委託事業を受け取り組みを開始。いじめや暴力行為、非行といった問題行動を起こす生徒を対象として、学校のほか警察、児童相談所など関係機関が問題解決に向けてどのような支援ができるかを協議し、その対象生徒を支援するサポートチームを編成し、具体的な支援を行っていくことを目的とする。		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>スポーツ・青少年課 文部科学省の委託を受けているため、市としての経費はかかっていない。 こども相談センター 家庭児童相談員 2人、臨床心理士 1人</p>		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>保護者の理解、協力が得られず、家庭と連携して児童生徒の支援にあたるのが難しいことから、保護者をいかに巻き込んでいくかが課題である。 一方、担任をはじめ担当教諭の負担も多く、家庭への対応については福祉部局などとの連携を図るなど、役割りを分担するなどして、多面的な支援方法を検討していくことが求められる。</p>		
H19年度の取り組み内容 【予定】	<p>平成18年度に設置した3校で引き続き自立支援教室を実施し、さらに、これまで別室での支援を行ってきたが、今年度は特に、家庭に積極的に関わり保護者との連携を強化していく。 このため、これまで学校だけでは対応が困難な事例や、家庭への介入が求められるケースについては、サポートチームや見守りネットワークなどによる地域ネットワークの活用を検討するほか、事例などを通して教員が対応などについて学ぶ機会や、バーンアウトの未然防止のための研修等を行っていきたい。</p>		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>あそび・非行型の不登校生徒や問題行動を起こす生徒のみではなく、対象生徒を広げ、学校と家庭との関係構築に努め、連携した支援をしっかりと行ってくことが求められる。 このため、スクールカウンセラーやこども見守りネットワークなど地域ネットワークを活用し、学校主体の支援のサポートと併せて、家庭へのきめ細やかな対応や必要に応じて両者の調整など、適切な支援が図られるよう努めていきたい。</p>		
スクールカウンセラー (再掲)	平成7年より文部科学省にて不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のため心の専門家であるスクールカウンセラーの配置を進め、当初は全国の中学校に配置する予定であった。現在石狩市では、花川中学校、花川北中学校、花川南中学校の3校に配置し、それぞれの中学校区の小学校も担当している。		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	全部会
事業名	ボランティア活動やNPOを活用した社会参加・参画		
計画体系	6 - (1) - 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の人材やNPO等の協力でボランティア活動等を通して、子どもの主体性や地域性を養います		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>こどもまつり・子育て支援メッセ2006を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 次代を担う子どもたちが社会体験の場を通じ自ら“まつり”を作るとともに、子育て・子育て支援に係わる者、団体等が一同に会し交流することにより、石狩市のまちづくり・ひとづくりに寄与することを目的とする。 ・主催: こどもまつり・子育て支援メッセ2006実行委員会 (構成: NPO法人こども・コムステーション・いしかり(事務局)、石狩市地域子育て支援センター、子育て支援ワーカーズぼけっとママ、コープさっぽろ石狩エリア委員会、石狩市食生活改善推進委員会、北海道江別保健所、石狩市) ・協力: いしかり子育てネット会議、コネクトメーカーズ(中高生サークル) ・協賛: ホクレンパールライス工場、コープフーズ(株)石狩工場、(株)ポーネルド札幌営業所、雪印乳業(株)北海道支店、カゴメ(株)北海道支店 ・日時: 10/28(土)、29(日)10時～15時 ・場所: 花川北コミュニティセンター ・内容: いしかり子育て子育て支援ブース、シンポジウム、こども商店街、フリーマーケット、あそびの広場、カブラ(木の造形ブロック)、食育セミナー、親子キッチン等 ・来場者数: 10/28 約450人、10/29 約300人 		
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金 100千円 ・託児委託費 10千円 		
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	地域やNPO等との継続的な協働のスタイルの確立が難しい。		
H19年度の取り組み内容 【予定】	今年度もNPO等とこどもまつり・子育て支援メッセを開催予定		
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材の発掘や、人材やNPO等の育成も必要 ・継続して協働スタイルの試行を行い、精査のうえ、効果的な事業に的を絞って取り組んでいきたい。 		

計画での予定年次 / 担当課 / 関係部会	平成17年度	子育て支援課	全部会
事業名	子どもに関する権利条約等の普及・啓発 子どもに関する権利条約のセミナー等の開催		
計画体系	6 - (2) - 子どもに関する権利に関する条約等の普及・啓発		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの基本的人権の尊重を目的とする「児童の権利に関する条約」や子どもに関する法律等を周知・啓発活動など通じて、多岐にわたる子どもを取り巻く問題から、子どもの主体性を育み・守っていきます		
児童の権利に関する条約	1989年の国連総会において採決された。特徴としては、これまで単なる保護の対象であった子どもが権利の主体として認められ、子どもに意見表明権を保障したところにある。この条約に批准した国は、必要な立法措置、行政措置その他の必要な措置を講ずることが定められており、条約規定遵守の義務を負う。日本では1994年から発効となった。		
H18年度の取り組み 【具体的内容】	<p>「こどもの権利について考えるフォーラム」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 大人の立場から子どもの権利について考える機会を提供し、必要な知識の習得と子どもの権利を守ろうとする意識の向上を図る。 ・主催: いしかり子ども総合支援会議、こども見守りネットワーク協議会 ・日時: 11/14 18時半～20時半 ・場所: 花川北コミセン ホール ・対象: 学校、幼稚園、保育所、民生委員児童委員など教育、福祉に携わる職員及び一般市民 ・内容: 講演「子どもの話に耳を傾け聴いていますか？」 パネルディスカッション「子どもの権利について考える」 		
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 報償費 45,440円 【人工】 0.1人工		
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	児童の権利に関する条約自体の普及・啓発はもちろんだが、広く人権について考える機会を提供することにより、子どもの権利についても市民が見つけ直せるような手法を検討することが必要		
H19年度の取り組み内容 【予定】	子育てネットマガジンに6月から子どもの権利のコラムを掲載		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	フォーラム、冊子掲載、学習会などの事業展開により、「児童の権利に関する条約」や子どもに関する法律等の普及・啓発を図っていきたい。		